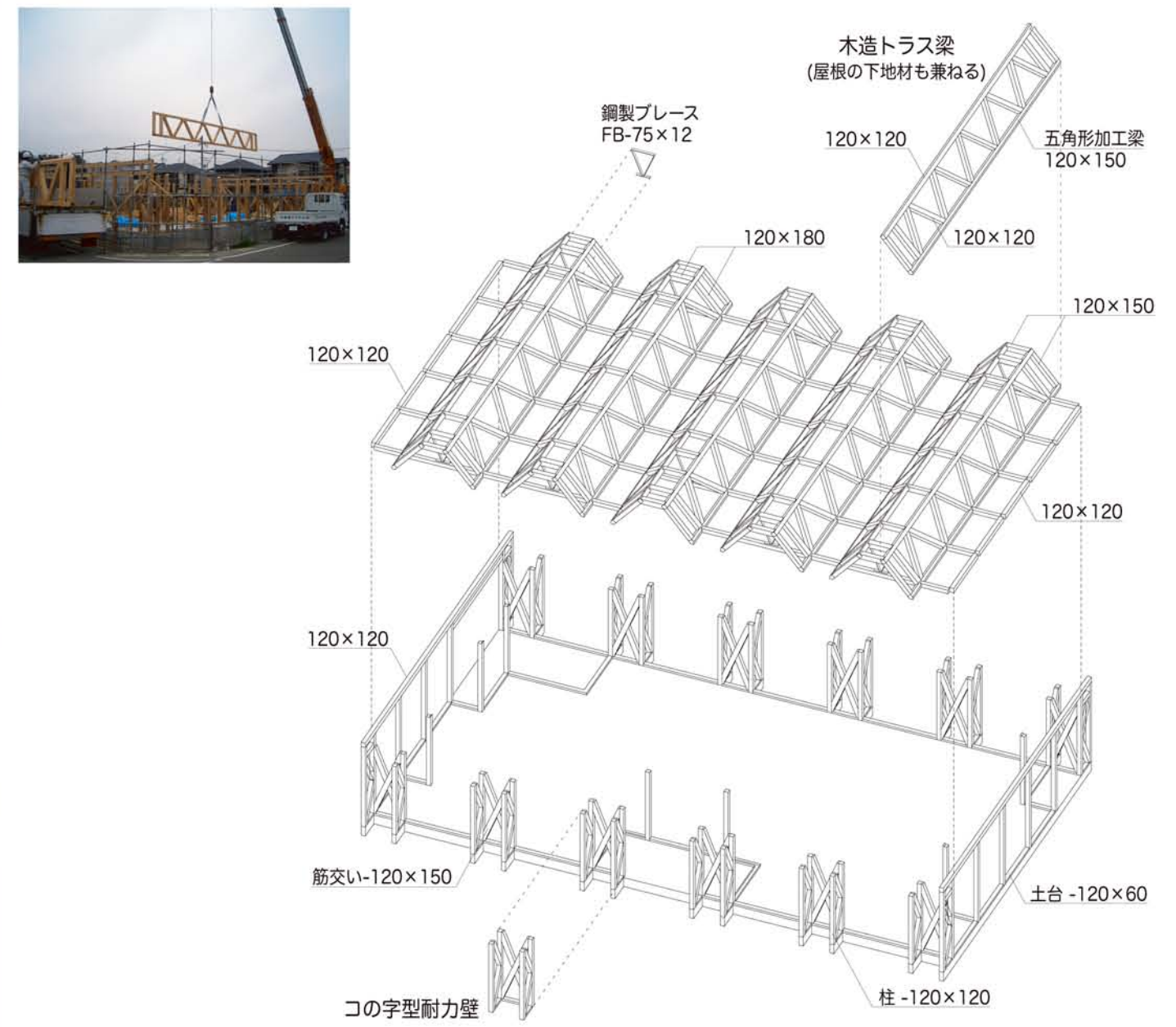
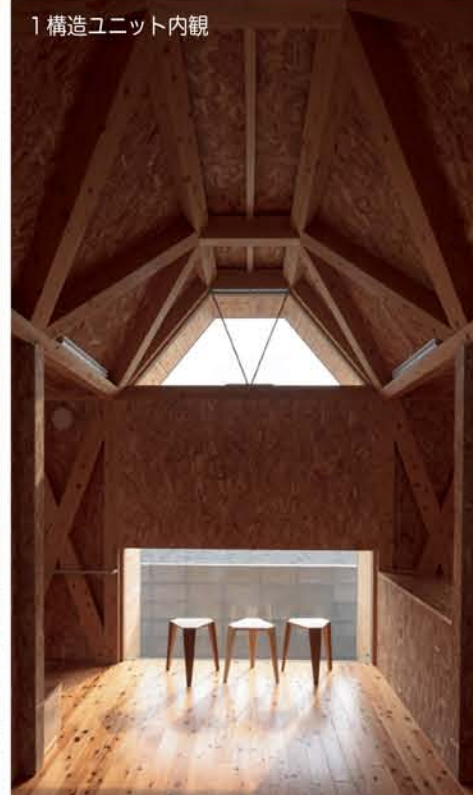
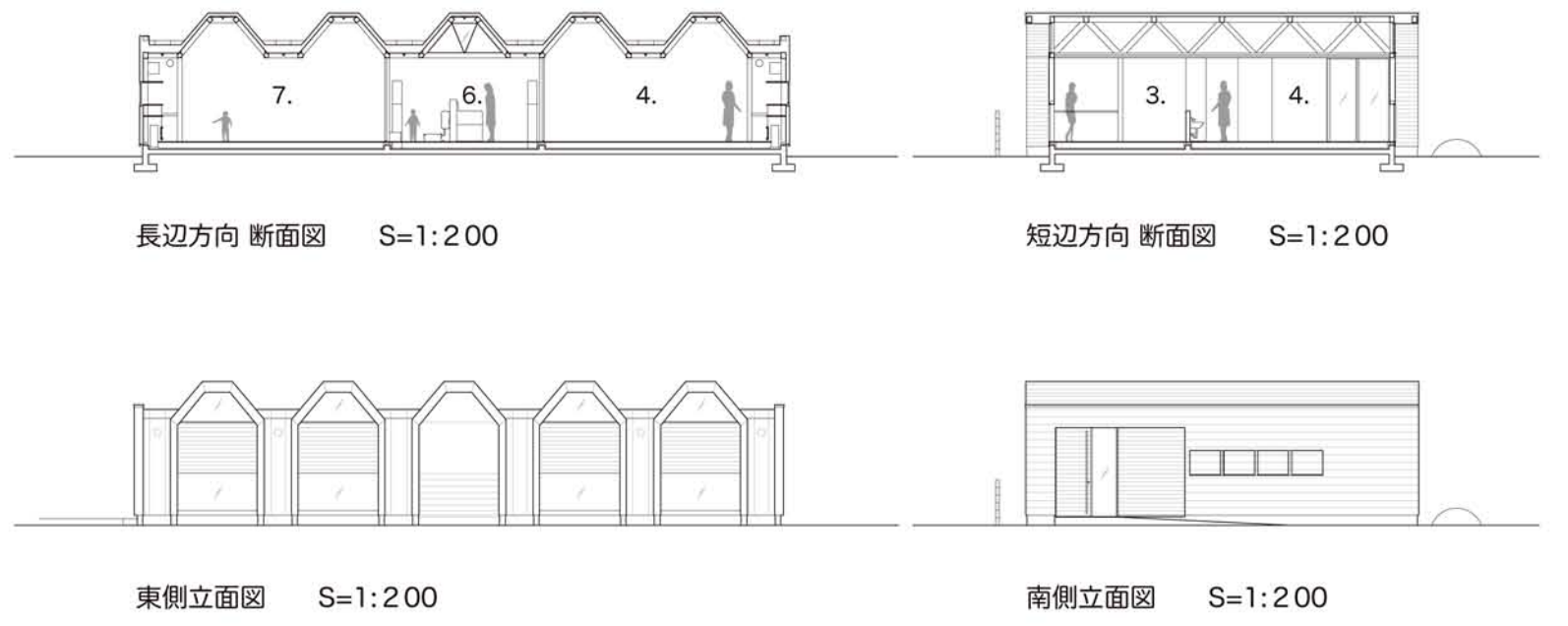
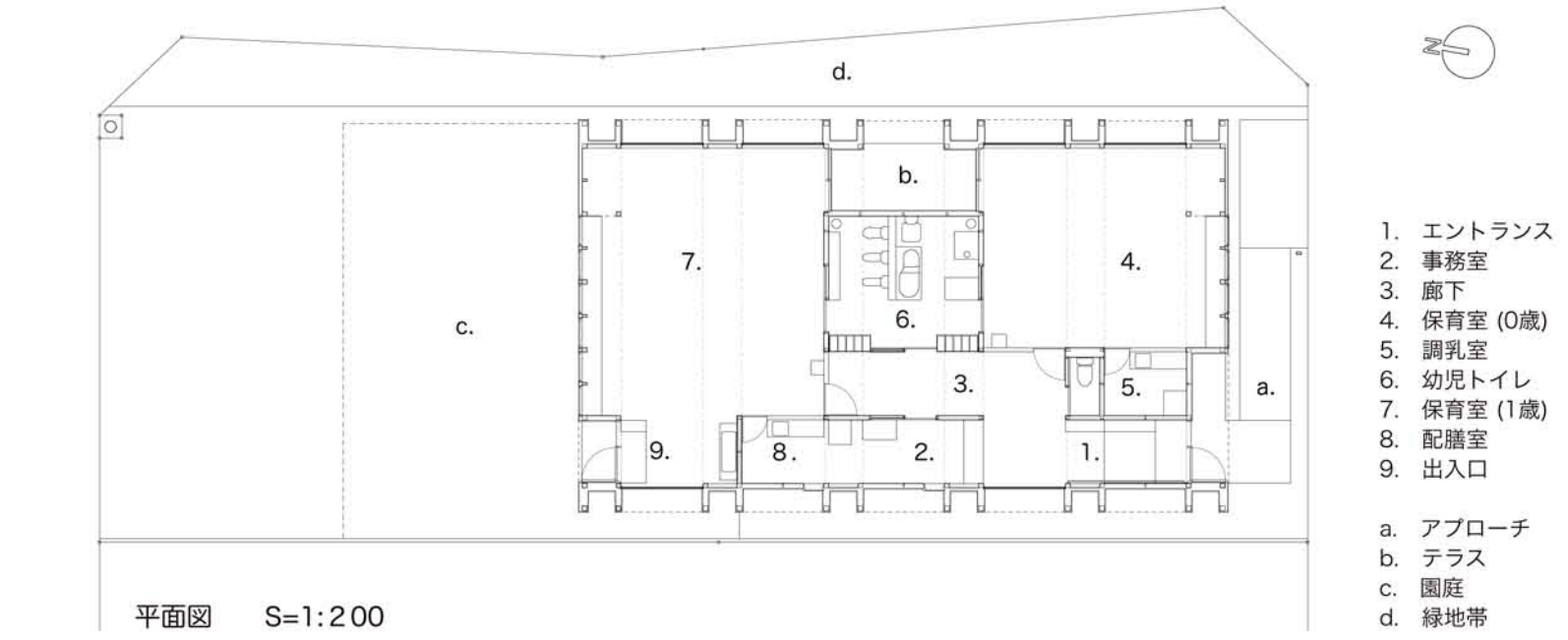


筑紫保育園 分園

・全国的に小児化が進んでいるにもかかわらず待機児童数が減らないという社会状況から、保育園運営者でも将来の保育児童数がどう変化していくのかを予測することが大変難しい状況にあります。そこでこの分園は、保育児童数が増えた場合に建物を同じイメージで増築し易いような建物構造で、逆に児童数が減った場合には様々な用途（遊戯室や地域子育て支援室など）に改修可能なように建物全体が9mスパンの木造無柱空間で構成しました。

・構造体や下地材を内部に表して使用することで、内装のすべてを木質系材料で構成しながらコストパフォーマンスの高い建物にしました。また建物外観は、折板状の屋根形状をそのまま表現するのではなく、折板の山形部分と耐力壁を利用した小さな家型が5つ並んだような子供らしい外観を目指しました。

敷地：福岡県太宰府市
 構造：木造平屋建
 敷地面積：424.55 m²
 建築面積：167.79 m²
 延床面積：148.75 m²



・木造トラス梁を応用した山形折板状の屋根構造体（梁と屋根スラブが一体となったもの）によって9mスパンの無柱空間を実現しており、その屋根構造体を支える耐力壁はすべて建物外周部に配置しています。

・この屋根構造体は、工場で組み上げた木造トラス梁をトレーラーで搬送し、それらを現地で山形折板状に組み上げて施工しました。複雑な接合部分は工場で組み上げ比較的小さい接合部分のみを現地で接合することで、施工精度の向上と施工コストの軽減が実現できました。

